

モニター様 No. 7

評価環境は下記です。

iPod Classic + ALO SXC 22G (Dock ケーブル) + iBasso D12-Hj (ポタアン)

現在メインで使用しているイヤフォンは Fidue A81 ・ Meze 11 Classics ・ Shure SE535Ltd です。
その他現在手元に残っているものとしては、ER-4P ・ IE-80 ・ SE-215 (ノーマル) 等々ダイナミック ・ BA
混在で全部で 10 本位です。ハイブリッドは持っていません。

この BEB 878 は、100 時間程エージングしてから使用を開始しました。

◆総評

特徴的な低音を出す、音場感 ・ 定位感に秀でた非常にバランスの良いイヤフォンと思います。

音の帯域バランスとしては低音寄りかと思います。量感が多めですので低音フォンと言っても良いかもしれません。

この低音が個性的で素晴らしいです。

中高音は埋もれることは無いです。控えめなようでははっきり出ています。

明瞭度は特別高い方ではないと思いますが、音の分離、音場感、解像度が良いです。

HDSS というものの効果なのか良い意味で不思議 (絶妙) なバランスで、低価格ながら総合力ではハイエンドと比較しうる魅力のあるイヤフォンと感じました。

総じて自分はとても気に入りました。メインモデルの一つとして使っていこうと思います。

◆低音の音質

このイヤフォンを一聴してまず特徴として感じるのは低音です。

低いところから太い低音が量感豊かに響きます。どちらかというとなめらかな音ですが、輪郭もある程度きちんと出してくれますので、締まりの無い量感だけ多いぼやけた低音とは違います。

ドラムのスネアやバスドラのアタックが音圧高く出ていてとても気持ち良いです。特にバスドラは重心の低さとアタック感からくるドスッ、ドスッという空気感を伴った響きが迫力満点です。この低音はクセになります。

手持ちで比較すると量的にはこの 878 が一番多く、それと近いのが Meze 11 Classics、次いで Fidue A81、かなり離れて Shure SE535Ltd (BA なので量的には不利ですが質はとても良いです) です。

沈み込みでは A81 です。かなり低いところまで出ます。全手持ちの中でも一番です。878 も A81 程ではないですが、結構沈み込みます。11

Classics は 878 まではいかない感じですが、878 と 11 Classics は似た傾向に感じましたが、878 の方がより重心が低く音圧もあるように思います。

◆中高音の音質

どちらかというと繊細な方だと思います。
上の方まで伸びている感じではないですが、きれいで自然な響きです。
ドラムのハイハットはやや目立つように感じます。

メタル系のディストーションの掛かったギターは、音にキレがあり粒立ちも良いので気持ち良く聴かせます。
結構厚みも出してくれます。

ボーカルは基本的に男性も女性も自然な響きです。BAのSE535Ltdには及びませんが、ノイズ感は無いです。艶のあるタイプではないです。
まれに一部のソースで女性ボーカルのさ行がやや目立つものがありましたが、全体的に刺さりはないです。

録音状態の悪いソースによっては、埋もれること無くきちんと出てはいるのですが、低音が強いため中高音が弱いと感じる場合があるかもしれません。普通の録音状態のものであればはっきり出してくれますので不足感等はありません。この辺はソースの録音状態の良し悪しがストレートに反映される感じですが。

◆音場・音像等

音場は広い方だと思います。手持ちの中で比較しても秀逸な方です。特に横方向に広がりを感じます。

ボーカルは近すぎず、遠すぎずといった感じです。
手持ちで比較するとA81は遠め、SE535Ltdは近めで、11 ClassicsはややSE535寄りといった感じ。878はA81寄りといったところでしょうか。

音像は中低音は太め、高音は比較するとやや細めでしょうか。
手持ちではA81・SE535が細め、11 Classicsが太めとするとその中間でしょうか。

定位感は良好です。拡散方向への響かせ方ではなく、音に実体感・立体感があります。

音の分離は良く、この点でも秀逸な方だと思います。
分離の良さに加えて音の粒立ちも良いです。もともとの解像度も高いと思いますが、こうした要素がより解像度感を高めていると感じます。
低音が強かったり、音数多くてだんご状になりそうなところもきちんと各楽器やボーカル、そしてそれらのニュアンスを聴き取ることが出来ます。

HDSSの効果によるものなのか良くは分かりませんが、全体を通して付帯音や歪みも少ない方だと思います（すごく明瞭な方ではないのにS/N比が高く感じます）。

◆遮音性

自分は耳穴が大きく、大体どのイヤフォンも付属のものは合いません。
878の付属もそうでしたので、100円ショップ キャンドウのイヤークリップにShureのMの弾丸チップから軸を抜き取ったものを詰めています。
この自作のものだと、SE535Ltdには及ばないものの良好です。地下鉄でも聴けるレベルです。

本体がストレートタイプの素直な形状なのでイヤーチップによる影響が大きいです。

◆音漏れ防止

密閉型なので音漏れは無いです。

◆その他

・気を付けて頂きたいのはイヤーチップの選択です。

きちんと耳が密閉されていないと特徴的な低音が半減します。

カナル型は皆そうですが、このイヤフォンも音が大きく変わります。

・タッチノイズはあります。

自分は密閉性を高めるためもあり無理やり Shure 掛けした上で、さらにケーブルに自作スライダーを付けてタッチノイズを防いでいます。

◆曲の感想

実際に曲を聴いた感想をいくつか下記します。

«Joyce/ Feminina»

ボサノバナンバーです。

左右のギターがボーカルに近いところで鳴りますが分離が良いので重なりません。

また、ギターの粒立ちも良いので、ラテンのリズムが際立ち気持ち良く曲を牽引していきます。ベースは量感がありますが、重心が低いので曲をボトムで支えてる感じです。

ボーカルはかなり近いはずですが、SE535Ltd や 11 Classics と比較すると若干距離を感じます。

«Meshuggah/ Concatenation»

変拍子を多用した轟音スラッシュメタルナンバーです。

音数の多いかなり激しい曲ですが、分離が良くある程度の空間も感じられるのでだんごにならず各楽器を聴き取れます。

ディストーションの掛かったギターが太く歯切れが良く聴いていて気持ち良いです。

«Slipknot/ Spit It Out»

これも轟音系のメタルナンバーです。

空間表現は良いです。こちらのギターはちょっと丸く出してくる感じです。

ももとの録音状態がそうなのかもしれませんが、もう少し高音が刺々しくトンガっていると良いなと思いました。

«真心ブラザーズ/ Yes Satisfaction Yes»

J-Pop です。

結構低い音域を使った低音が入っているソースと思います。

878 は重心低く空気感のある低音を出してきます。

«中島美嘉/ Crescent Moon»

これも J-Pop です。

音の分離が良く、低音がしっかりしていますが、繊細な高音もきちんと聴こえてきます。ボーカルの定位が良く、実体感があります。

878の音は個性はありますが、ソースの録音状態には忠実な鳴らし方だと思います。手持ちのイヤフォンの中でもかなりはっきり出してくる方に感じます。録音状態の良し悪しが分かりやすいです。録音状態の良くない80年代のメタルなんかだとショボク感じたりします。ジャンルの部分での不得手は無いように思いますが、ソースは選びそうです。

-- 以上 --

<注意>

本レポートは、シースピリッツ合同会社のBlue Ever Blue Mercury Model 878 モニタープログラムに基づいて選定されたモニターの方が作成したものであり、その著作権はシースピリッツ合同会社に委属し、個人的な閲覧目的のために供するものです。転載等をご希望の際は、シースピリッツ合同会社までご相談下さい (info@hakojiro.com)。